

# 第 48 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(平成 28 年 8 月調査)

～景況感は、小幅ながら 2 期連続で改善～

## 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲6.3 (前回調査比 3.3 ポイント上昇)と**小幅ながら 2 期連続で改善**した。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「資金繰り」が若干悪化したものの、「売上高」「営業利益」「人員・人手」が改善となった。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が▲9.2 (前回調査比 16.0 ポイント上昇)、製造業が 1.5 (前回調査比 1.5 ポイント上昇)、卸・小売業が▲23.4 (前回調査比 0.4 ポイント下落)、サービス業が 4.6 (前回調査比 3.9 ポイント下落)と、卸・小売業でほぼ横ばい、サービス業で悪化となったものの、**建設業と製造業で改善**となっている。製造業では D I 値が 4 期ぶりにプラスに転じた。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲1.8 (前回調査比 6.0 ポイント上昇)、村山北部が 10.3 (前回調査比 15.4 ポイント上昇)、最上が▲21.0 (前回調査比 7.4 ポイント下落)、置賜が▲28.8 (前回調査比 5.9 ポイント下落)、庄内田川が▲1.2 (前回調査比 12.5 ポイント上昇)、庄内飽海が 6.4 (前回調査比 6.4 ポイント下落)と、**最上、置賜、庄内飽海で悪化**したが、**村山南部、村山北部、庄内田川で改善**となった。庄内飽海では D I 値が 2 期ぶりにマイナスに転じた一方で、村山北部では 9 期ぶりにプラスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値」が▲11.9 (今回調査比 5.6 ポイント下落)と悪化の見込みとなっている。

## 【特別調査】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、28 年度中に設備投資を「実施した」、または「実施する」と回答した企業の割合は 40.5% (前年度比 0.2 ポイント低下)で、平成 24 年度以降、ほぼ 40%程度での推移となっている。

平成 28 年 8 月

株式会社 フィデア総合研究所

# 目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向	15
2.	設備投資金額	17
3.	設備投資目的	18
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		20
<参考資料 II : 調査の概要>		20

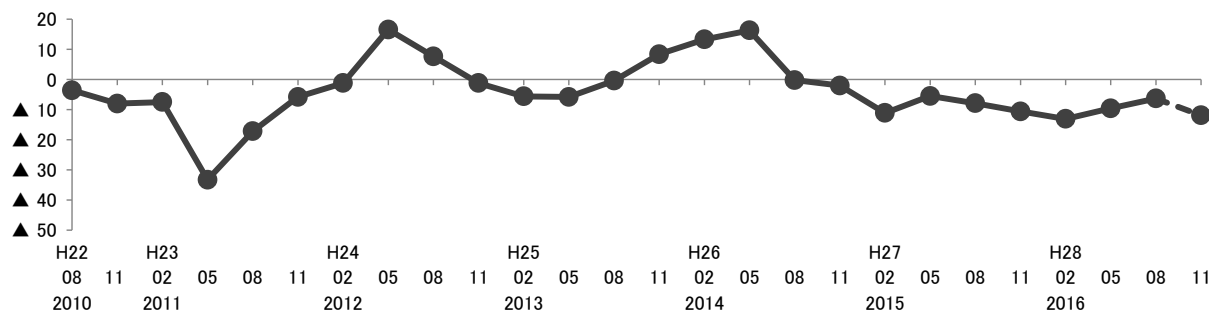
## I. 県内企業の業況

### 1. 概況

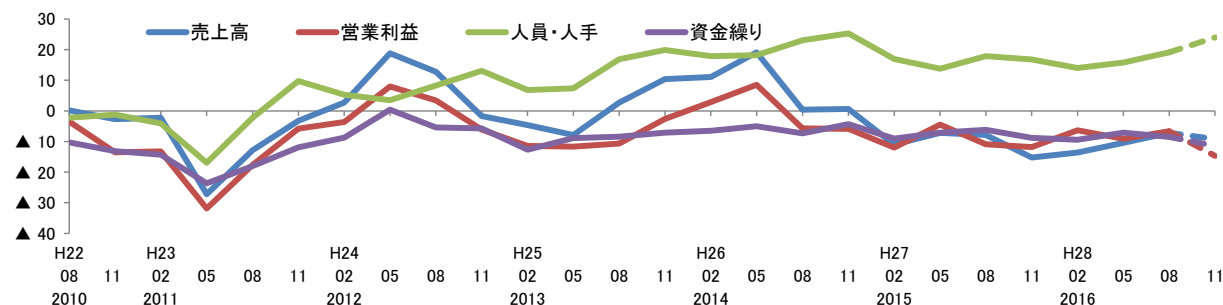
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲6.3（前回調査比 3.3 ポイント上昇）と小幅ながら2期連続で改善した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」が若干悪化したものの、「売上高」「営業利益」「人員・人手」が改善となった。このうち「売上高」は3期連続で改善した。

先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲11.9（今回調査比 5.6 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 27.08 (n=435)	▲ 7.9	(▲ 2.4)	▲ 15.1	▲ 7.9	▲ 10.9	17.9	▲ 6.2
H 27.11 (n=440)	▲ 10.6	(▲ 2.7)	▲ 7.3	▲ 15.2	▲ 11.8	16.8	▲ 8.8
H 28.02 (n=428)	▲ 13.1	(▲ 2.5)	▲ 12.1	▲ 13.6	▲ 6.3	14.0	▲ 9.4
H 28.05 (n=451)	▲ 9.6	(3.5)	▲ 19.9	▲ 10.4	▲ 9.1	15.8	▲ 7.1
<b>H 28.08 (n=457)</b>	<b>▲ 6.3</b>	<b>(3.3)</b>	<b>▲ 14.0</b>	<b>▲ 7.2</b>	<b>▲ 6.6</b>	<b>19.1</b>	<b>▲ 8.5</b>
前回調査比	-	-	-	(3.2)	(2.5)	(3.3)	(▲ 1.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 11.9</b>	-	-	<b>▲ 9.2</b>	<b>▲ 14.7</b>	<b>24.0</b>	<b>▲ 11.4</b>
今回調査比	(▲ 5.6)	-	-	(▲ 2.0)	(▲ 8.1)	(4.9)	(▲ 2.9)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

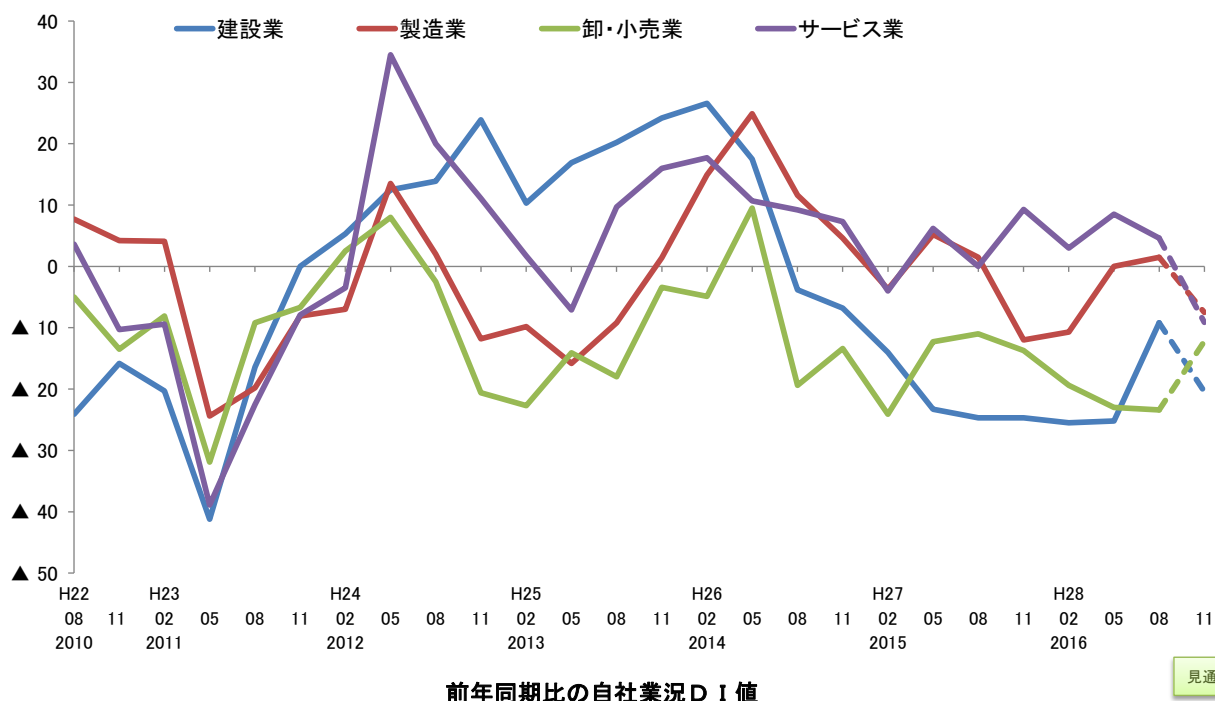
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲9.2（前回調査比 16.0 ポイント上昇）、製造業が 1.5（前回調査比 1.5 ポイント上昇）、卸・小売業が▲23.4（前回調査比 0.4 ポイント下落）、サービス業が 4.6（前回調査比 3.9 ポイント下落）と、卸・小売業でほぼ横ばい、サービス業で悪化となったものの、建設業と製造業で改善となっている。製造業では D I 値が 4 期ぶりにプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、建設業、製造業、サービス業で大幅に悪化の見込みとなっている。製造業とサービス業では D I 値が再びマイナスに転じ、全業種でマイナスの見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

見通し

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27. 08 (n=435)	▲ 7.9	▲ 24.7	1.5	▲ 11.0	0.0
H 27. 11 (n=440)	▲ 10.6	▲ 24.7	▲ 12.0	▲ 13.7	9.3
H 28. 02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 25.5	▲ 10.7	▲ 19.4	3.0
H 28. 05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 25.2	0.0	▲ 23.0	8.5
<b>H 28. 08 (n=457)</b>	<b>▲ 6.3</b>	<b>▲ 9.2</b>	<b>1.5</b>	<b>▲ 23.4</b>	<b>4.6</b>
前回調査比	(3.3)	(16.0)	(1.5)	(▲ 0.4)	(▲ 3.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 11.9</b>	<b>▲ 20.4</b>	<b>▲ 7.5</b>	<b>▲ 12.2</b>	<b>▲ 9.1</b>
今回調査比	(▲ 5.6)	(▲ 11.2)	(▲ 9.0)	(11.2)	(▲ 13.7)

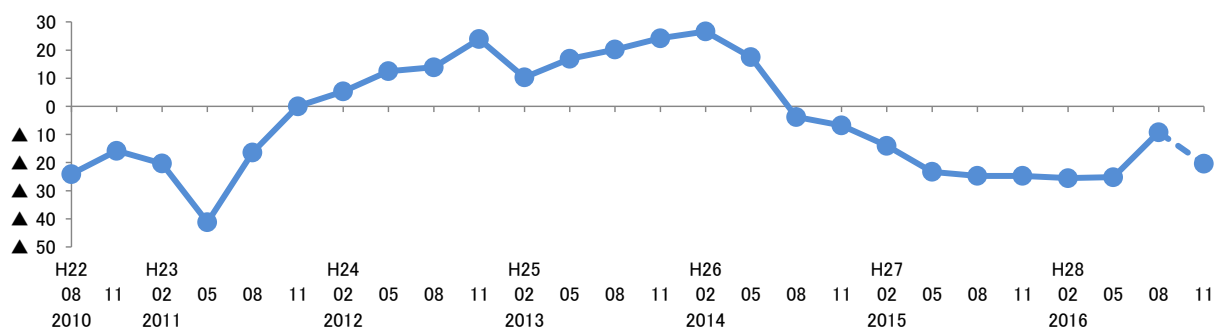
## (2) 業種別 D I 値の動向

### ① 建設業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲9.2（前回調査比 16.0 ポイント上昇）と大幅に改善した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、すべての項目で改善となっている。D I 値は依然として低水準ながら、業況が改善した企業では、繰越工事による利益等の押し上げや民間工事の好調な状況がうかがえる。

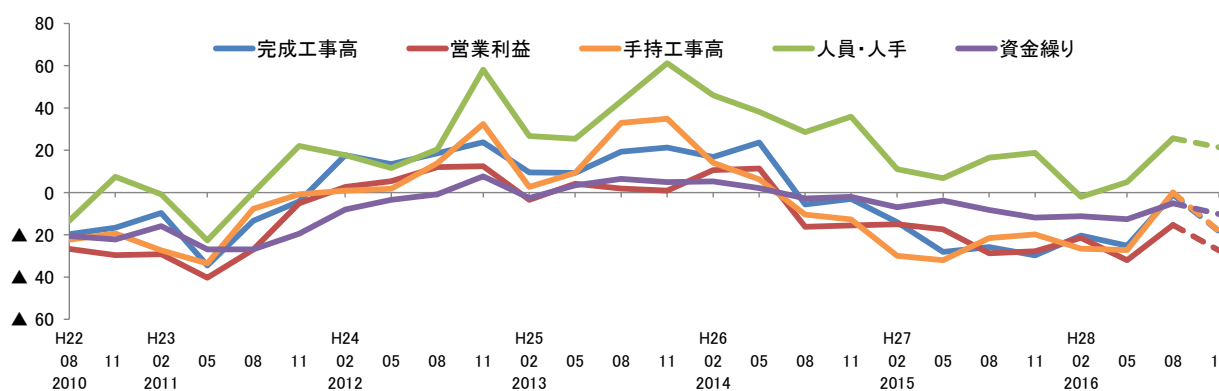
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲20.4（今回調査比 11.2 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなり、先行きは不透明な状況となっている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

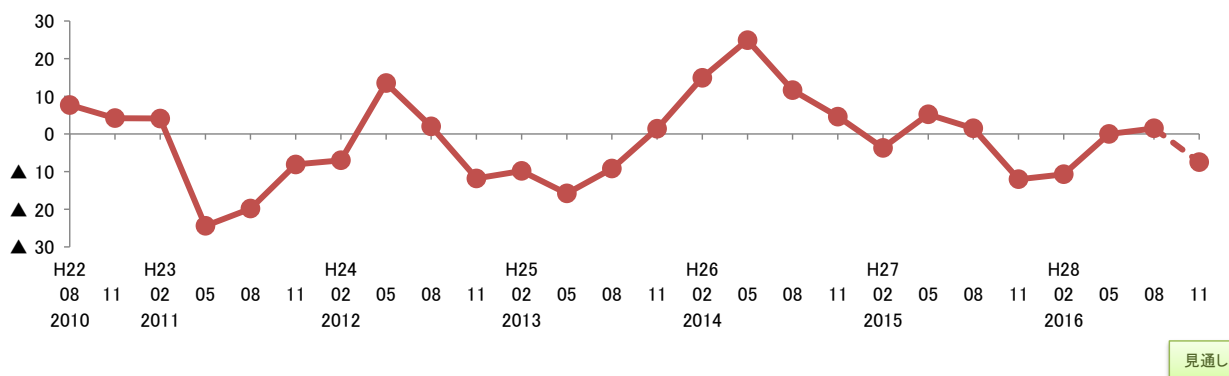
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 27. 08 (n=97)	▲ 24. 7	(▲ 1. 4)	▲ 40. 8	▲ 25. 8	▲ 28. 8	▲ 21. 6	16. 5	▲ 8. 3
H 27. 11 (n=101)	▲ 24. 7	(0. 0)	▲ 20. 6	▲ 29. 7	▲ 27. 8	▲ 19. 8	18. 8	▲ 11. 9
H 28. 02 (n=98)	▲ 25. 5	(▲ 0. 8)	▲ 27. 7	▲ 20. 4	▲ 21. 5	▲ 26. 6	▲ 2. 0	▲ 11. 2
H 28. 05 (n=103)	▲ 25. 2	(0. 3)	▲ 37. 7	▲ 25. 2	▲ 32. 0	▲ 27. 2	4. 9	▲ 12. 6
<b>H 28. 08 (n=98)</b>	<b>▲ 9. 2</b>	<b>(16. 0)</b>	<b>▲ 30. 1</b>	<b>▲ 1. 0</b>	<b>▲ 15. 3</b>	<b>0. 0</b>	<b>25. 6</b>	<b>▲ 5. 1</b>
前回調査比	-	-	-	(24. 2)	(16. 7)	(27. 2)	(20. 7)	(7. 5)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 20. 4</b>	-	-	<b>▲ 18. 4</b>	<b>▲ 27. 5</b>	<b>▲ 18. 3</b>	<b>21. 4</b>	<b>▲ 10. 2</b>
今回調査比	(▲ 11. 2)	-	-	(▲ 17. 4)	(▲ 12. 2)	(▲ 18. 3)	(▲ 4. 2)	(▲ 5. 1)

## ② 製造業

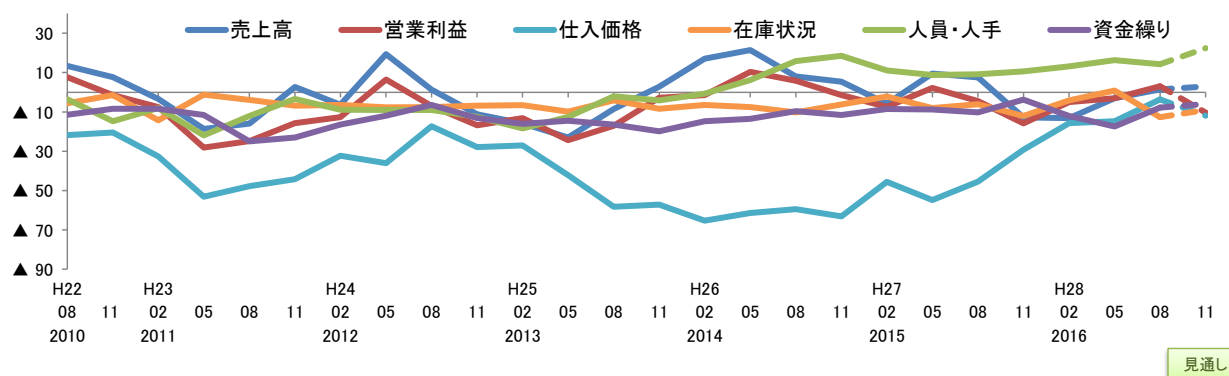
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は1.5（前回調査比1.5ポイント上昇）と、3期連続で改善し、D I 値がプラスに転じた。「各種D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「資金繰り」で改善となった。中でも「仕入価格」の改善幅が大きくなっている。また、「売上高」と「営業利益」でD I 値がプラスに転じた。要因として、受注が増加した企業も一部にみられるほか、円高傾向により原材料価格の上昇が落ち着いたことから、採算性が良化したことなどが考えられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値」が▲7.5（今回調査比9.0ポイント下落）と悪化に転じる見込みとなっている。不安定な為替相場や円高による輸出の低迷を懸念する状況がうかがえる。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

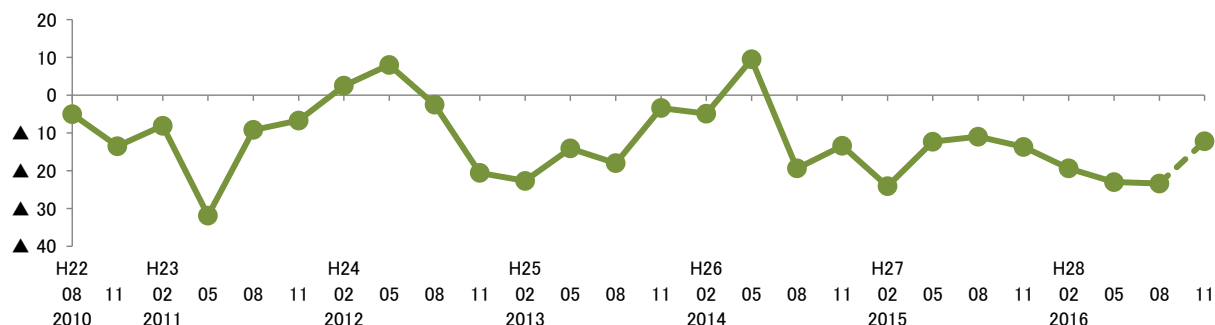
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 27. 08 (n=132)	1.5	(▲ 3.7)	1.4	7.6	▲ 4.5	▲ 45.5	▲ 6.1	9.1	▲ 3.8
H 27. 11 (n=133)	▲ 12.0	(▲ 13.5)	1.5	▲ 12.8	▲ 15.8	▲ 29.3	▲ 12.1	10.6	▲ 12.1
H 28. 02 (n=121)	▲ 10.7	(1.3)	▲ 2.3	▲ 13.2	▲ 5.0	▲ 15.7	▲ 4.2	13.2	▲ 17.4
H 28. 05 (n=129)	0.0	(10.7)	▲ 10.7	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 14.7	0.8	16.3	▲ 7.8
<b>H 28. 08 (n=134)</b>	<b>1.5</b>	<b>(1.5)</b>	<b>3.9</b>	<b>1.5</b>	<b>3.0</b>	<b>▲ 3.7</b>	<b>▲ 12.7</b>	<b>14.2</b>	<b>▲ 6.0</b>
前回調査比	-	-	-	(4.6)	(6.1)	(11.0)	(▲ 13.5)	(▲ 2.1)	(1.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 7.5</b>	-	-	<b>2.9</b>	<b>▲ 10.4</b>	<b>▲ 11.9</b>	<b>▲ 9.0</b>	<b>22.4</b>	<b>▲ 12.6</b>
今回調査比	(▲ 9.0)	-	-	(1.4)	(▲ 13.4)	(▲ 8.2)	(3.7)	(8.2)	(▲ 6.6)

### ③ 卸・小売業

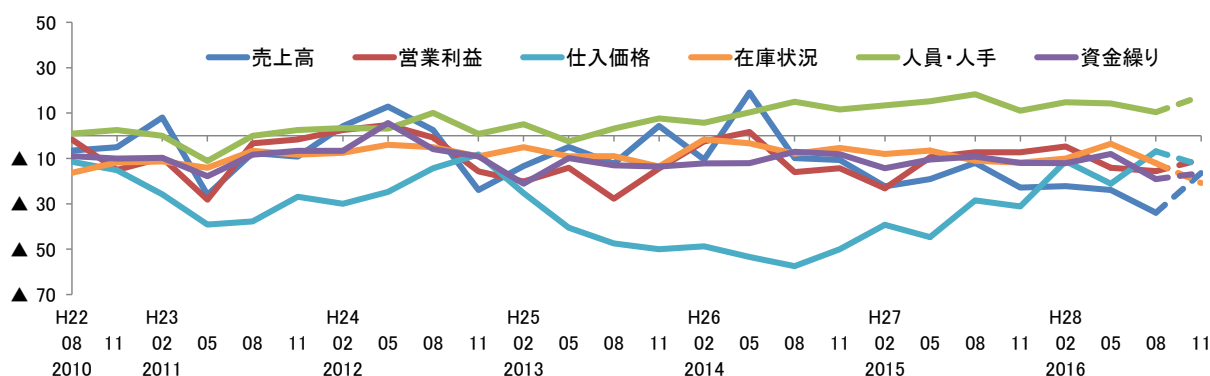
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲23.4（前回調査比0.4ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」で改善したものの、その他5項目で悪化となった。依然として消費の低迷が続いており、業況が低調に推移しているものと考えられる。

業況の先行き見通しは、▲12.2（今回調査比11.2ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

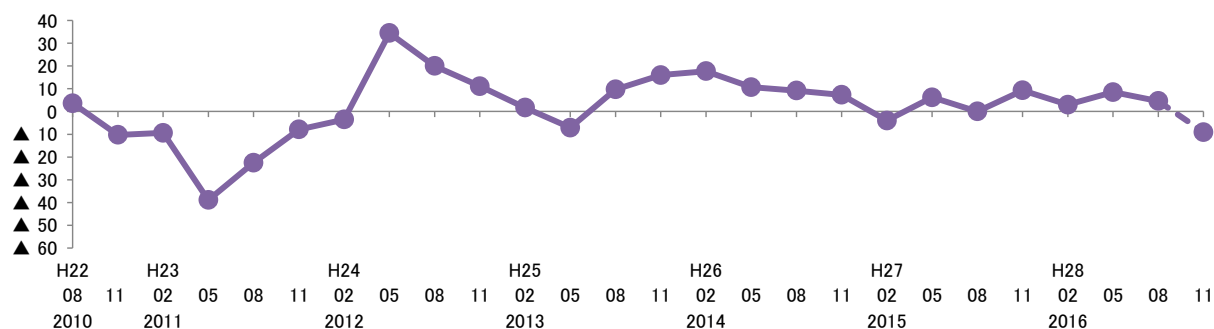
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 27.08 (n=109)	▲ 11.0	(1.3)	▲ 14.3	▲ 12.0	▲ 7.3	▲ 28.5	▲ 11.0	18.3	▲ 9.2
H 27.11 (n=109)	▲ 13.7	(▲ 2.7)	▲ 9.2	▲ 22.9	▲ 7.3	▲ 31.2	▲ 11.9	11.0	▲ 12.0
H 28.02 (n=108)	▲ 19.4	(▲ 5.7)	▲ 16.5	▲ 22.2	▲ 4.7	▲ 11.2	▲ 10.1	14.8	▲ 12.1
H 28.05 (n=113)	▲ 23.0	(▲ 3.6)	▲ 24.1	▲ 23.9	▲ 14.1	▲ 21.2	▲ 3.6	14.2	▲ 8.0
<b>H 28.08 (n=115)</b>	<b>▲ 23.4</b>	<b>(▲ 0.4)</b>	<b>▲ 14.2</b>	<b>▲ 33.9</b>	<b>▲ 15.6</b>	<b>▲ 6.9</b>	<b>▲ 12.1</b>	<b>10.4</b>	<b>▲ 19.1</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 10.0)	(▲ 1.5)	(14.3)	(▲ 8.5)	(▲ 3.8)	(▲ 11.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.2</b>	-	-	<b>▲ 16.5</b>	<b>▲ 10.5</b>	<b>▲ 13.0</b>	<b>▲ 20.8</b>	<b>17.4</b>	<b>▲ 16.5</b>
今回調査比	(11.2)	-	-	(17.4)	(5.1)	(▲ 6.1)	(▲ 8.7)	(7.0)	(2.6)

### ④ サービス業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は4.6（前回調査比3.9ポイント下落）と、足踏み状態となっている。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」がほぼ横ばいとなっているものの「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となっている。土木・建築サービスや自動車整備関連などで業況悪化の状況がうかがえる。

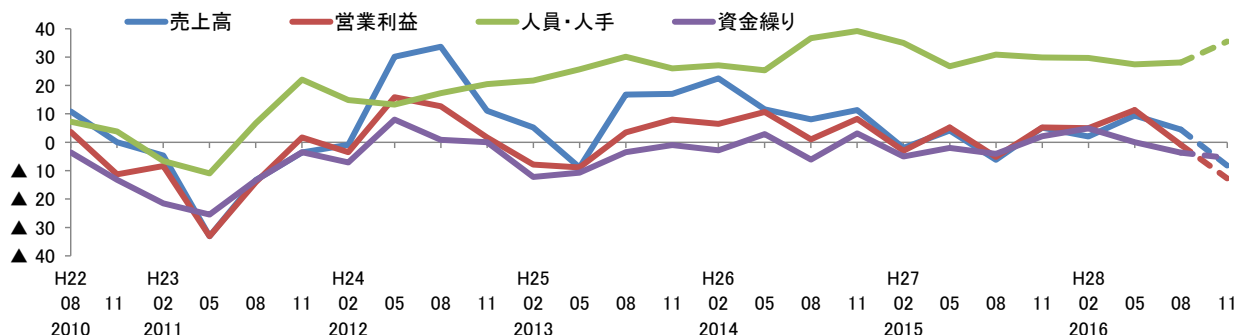
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲9.1（今回調査比13.7ポイント下落）と大幅に悪化し、DI値がマイナスに転じる見込みとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 27.08 (n=97)	0.0	(▲ 6.2)	▲ 12.3	▲ 6.2	▲ 5.2	30.9	▲ 4.1
H 27.11 (n=97)	9.3	(9.3)	▲ 4.1	5.1	5.2	29.9	2.1
H 28.02 (n=101)	3.0	(▲ 6.3)	▲ 4.1	2.0	5.0	29.7	4.9
H 28.05 (n=106)	8.5	(5.5)	▲ 8.9	9.4	11.3	27.4	0.0
<b>H 28.08 (n=110)</b>	<b>4.6</b>	<b>(▲ 3.9)</b>	<b>▲ 19.8</b>	<b>4.5</b>	<b>▲ 0.9</b>	<b>28.1</b>	<b>▲ 3.7</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 4.9)	(▲ 12.2)	(0.7)	(▲ 3.7)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 9.1</b>	-	-	<b>▲ 8.2</b>	<b>▲ 12.7</b>	<b>35.5</b>	<b>▲ 5.5</b>
今回調査比	(▲ 13.7)	-	-	(▲ 12.7)	(▲ 11.8)	(7.4)	(▲ 1.8)



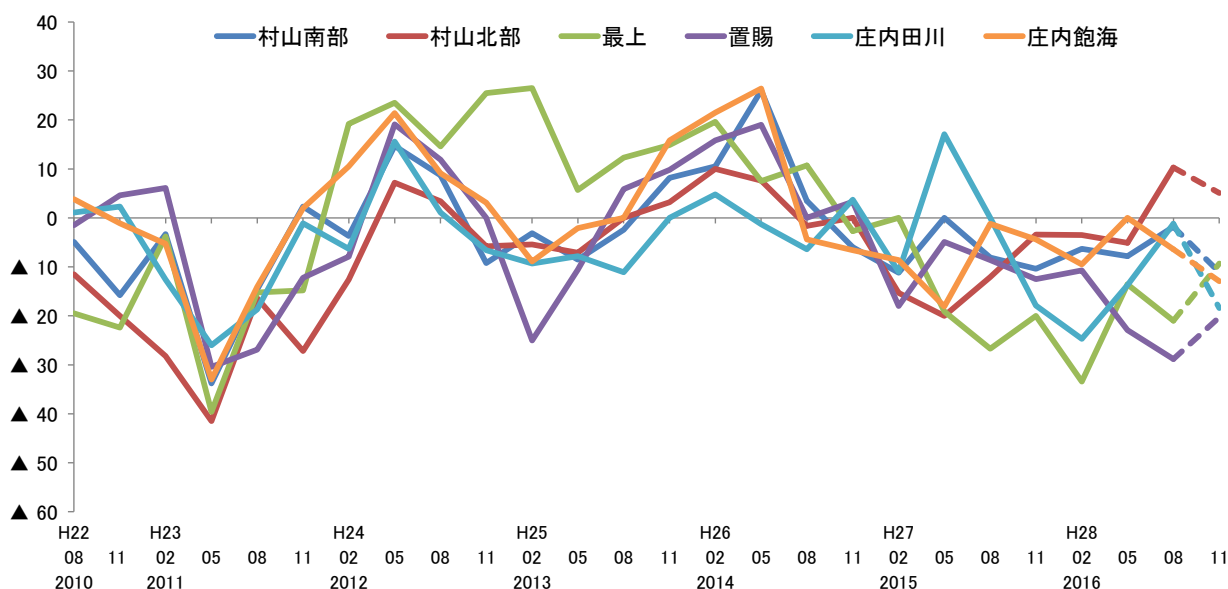
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲1.8（前回調査比 6.0 ポイント上昇）、村山北部が 10.3（前回調査比 15.4 ポイント上昇）、最上が▲21.0（前回調査比 7.4 ポイント下落）、置賜が▲28.8（前回調査比 5.9 ポイント下落）、庄内田川が▲1.2（前回調査比 12.5 ポイント上昇）、庄内飽海が 6.4（前回調査比 6.4 ポイント下落）となっている。最上、置賜、庄内飽海で悪化する一方、村山南部、村山北部、庄内田川では改善となり、庄内飽海では D I 値が 2 期ぶりにマイナスに転じたが、村山北部では 9 期ぶりにプラスに転じるなど、地域別にまだら模様となっている。

業況の先行き見通しをみると、最上と置賜で改善の見込みとなっているものの、その他の 4 地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 27. 08 (n=435)	▲ 7.9	▲ 8.1	▲ 12.1	▲ 26.7	▲ 8.6	0.0	▲ 1.2
H 27. 11 (n=440)	▲ 10.6	▲ 10.4	▲ 3.4	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 17.9	▲ 4.4
H 28. 02 (n=428)	▲ 13.1	▲ 6.3	▲ 3.5	▲ 33.4	▲ 10.7	▲ 24.7	▲ 9.5
H 28. 05 (n=451)	▲ 9.6	▲ 7.8	▲ 5.1	▲ 13.6	▲ 22.9	▲ 13.7	0.0
<b>H 28. 08 (n=457)</b>	<b>▲ 6.3</b>	<b>▲ 1.8</b>	<b>10.3</b>	<b>▲ 21.0</b>	<b>▲ 28.8</b>	<b>▲ 1.2</b>	<b>▲ 6.4</b>
前回調査比	(3.3)	(6.0)	(15.4)	(▲ 7.4)	(▲ 5.9)	(12.5)	(▲ 6.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 11.9</b>	<b>▲ 11.1</b>	<b>5.1</b>	<b>▲ 9.3</b>	<b>▲ 20.3</b>	<b>▲ 18.4</b>	<b>▲ 12.9</b>
今回調査比	(▲ 5.6)	(▲ 9.3)	(▲ 5.2)	(11.7)	(8.5)	(▲ 17.2)	(▲ 6.5)

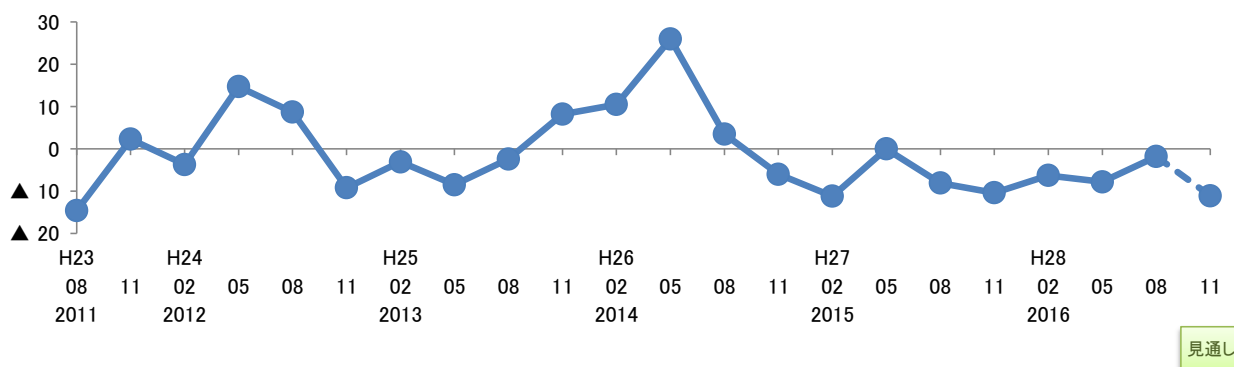
## (2) 地域別 D I 値の動向

### ① 村山南部

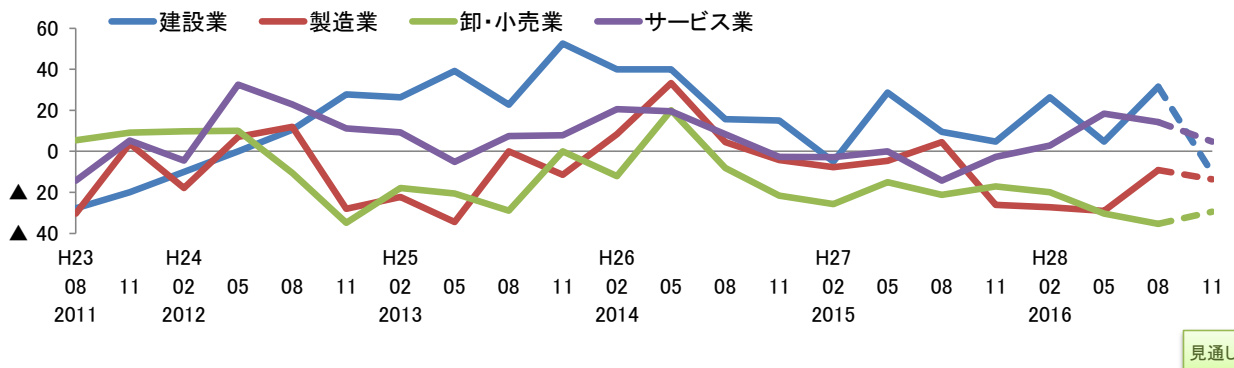
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲1.8（前回調査比 6.0 ポイント上昇）と、一進一退の状況となっている。業種別にみると、卸・小売業とサービス業で悪化となったものの、建設業と製造業で大幅に改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲11.1（今回調査比 9.3 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

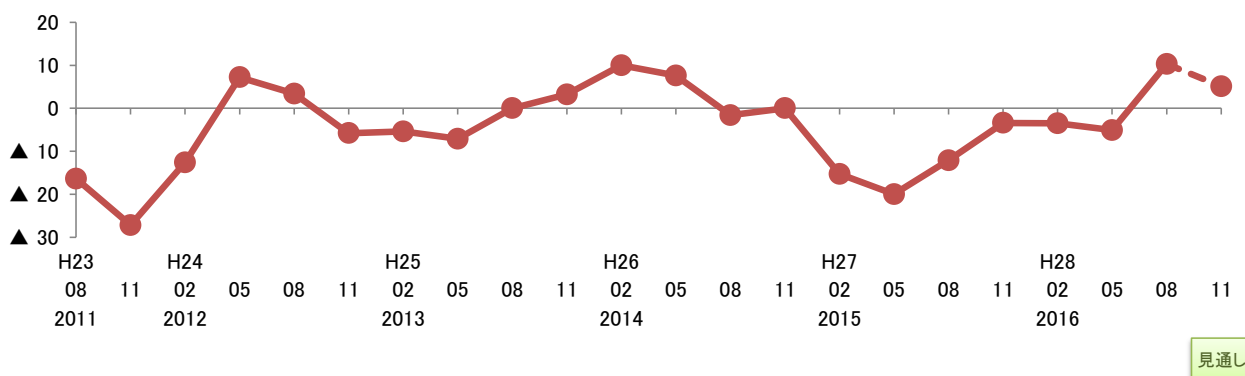
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27. 08 (n=111)	▲ 8. 1	(▲ 8. 1)	▲ 15. 9	9. 5	4. 5	▲ 21. 2	▲ 14. 3
H 27. 11 (n=116)	▲ 10. 4	(▲ 2. 3)	▲ 1. 8	4. 7	▲ 26. 1	▲ 17. 1	▲ 2. 7
H 28. 02 (n=112)	▲ 6. 3	(4. 1)	▲ 15. 5	26. 3	▲ 27. 3	▲ 20. 0	2. 8
H 28. 05 (n=116)	▲ 7. 8	(▲ 1. 5)	▲ 11. 6	4. 8	▲ 29. 1	▲ 30. 3	18. 4
<b>H 28. 08 (n=117)</b>	<b>▲ 1. 8</b>	<b>(6. 0)</b>	<b>▲ 14. 7</b>	<b>31. 5</b>	<b>▲ 9. 1</b>	<b>▲ 35. 3</b>	<b>14. 3</b>
前回調査比	-	-	-	(26. 7)	(20. 0)	(▲ 5. 0)	(▲ 4. 1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 11. 1</b>	-	-	<b>▲ 10. 5</b>	<b>▲ 13. 7</b>	<b>▲ 29. 4</b>	<b>4. 7</b>
今回調査比	(▲ 9. 3)	-	-	(▲ 42. 0)	(▲ 4. 6)	(5. 9)	(▲ 9. 6)

## ② 村山北部

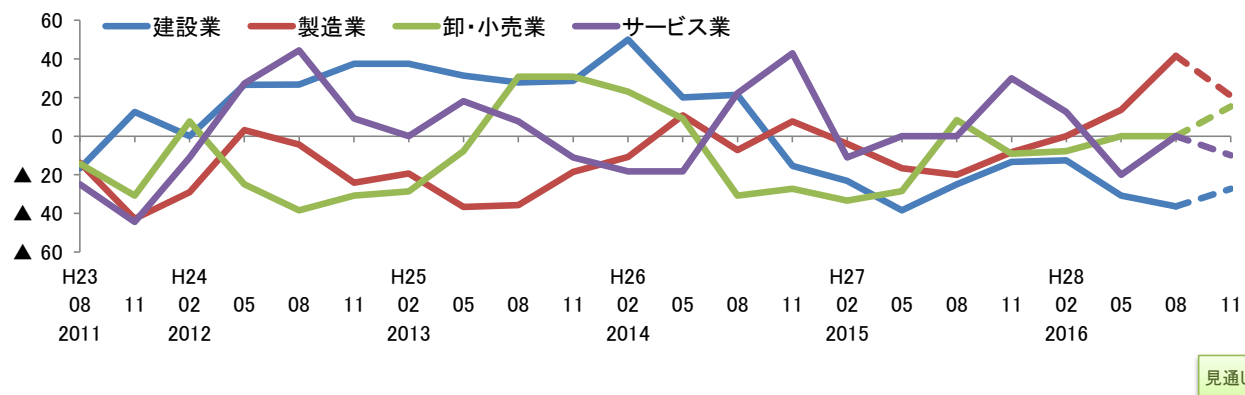
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 10.3（前回調査比 15.4 ポイント上昇）と大幅に改善し、D I 値がプラスに転じた。業種別にみると、建設業で悪化したものの、卸・小売業で横ばい、製造業とサービス業で大幅に改善した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が 5.1（今回調査比 5.2 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

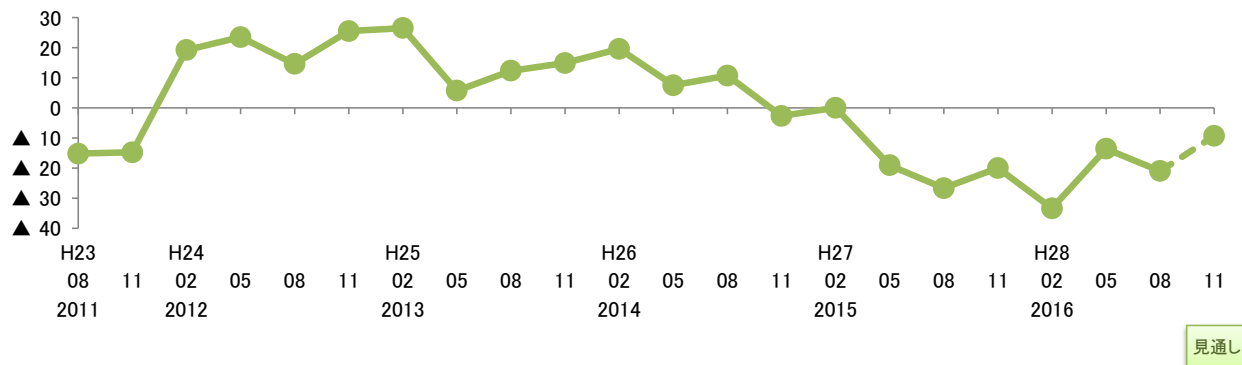
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.08 (n=58)	▲ 12.1	(7.9)	▲ 14.6	▲ 25.0	▲ 20.0	8.3	0.0
H 27.11 (n=60)	▲ 3.4	(8.7)	▲ 3.4	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 9.1	30.0
H 28.02 (n=57)	▲ 3.5	(▲ 0.1)	▲ 6.6	▲ 12.5	0.0	▲ 7.7	12.5
H 28.05 (n=59)	▲ 5.1	(▲ 1.6)	▲ 15.8	▲ 30.8	13.7	0.0	▲ 20.0
<b>H 28.08 (n=58)</b>	<b>10.3</b>	<b>(15.4)</b>	<b>3.4</b>	<b>▲ 36.4</b>	<b>41.6</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.6)	(27.9)	(0.0)	(20.0)
<b>先行き見通し</b>	<b>5.1</b>	-	-	<b>▲ 27.3</b>	<b>20.8</b>	<b>15.4</b>	<b>▲ 10.0</b>
今回調査比	(▲ 5.2)	-	-	(9.1)	(▲ 20.8)	(15.4)	(▲ 10.0)

### ③ 最上

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲21.0（前回調査比 7.4 ポイント下落）と悪化となった。業種別にみると、建設業で改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化した。

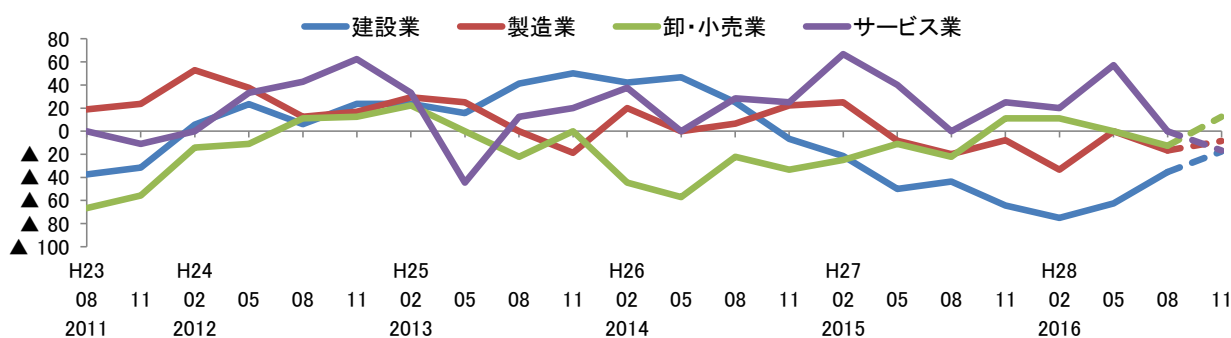
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲9.3（今回調査比 11.7 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

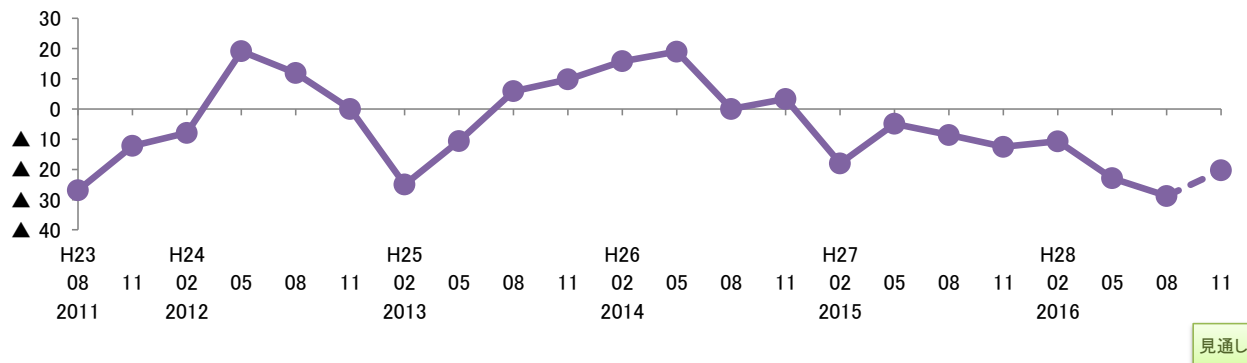
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27. 08 (n=45)	▲ 26.7	(▲ 7.6)	▲ 31.0	▲ 43.7	▲ 20.0	▲ 22.2	0.0
H 27. 11 (n=40)	▲ 20.0	(6.7)	0.0	▲ 64.3	▲ 7.7	11.1	25.0
H 28. 02 (n=42)	▲ 33.4	(▲ 13.4)	▲ 22.5	▲ 75.0	▲ 33.3	11.1	20.0
H 28. 05 (n=44)	▲ 13.6	(19.8)	▲ 40.5	▲ 62.5	0.0	0.0	57.1
<b>H 28. 08 (n=43)</b>	<b>▲ 21.0</b>	<b>(▲ 7.4)</b>	<b>▲ 20.5</b>	<b>▲ 35.3</b>	<b>▲ 16.7</b>	<b>▲ 12.5</b>	<b>0.0</b>
前回調査比	-	-	-	(27.2)	(▲ 16.7)	(▲ 12.5)	(▲ 57.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 9.3</b>	-	-	<b>▲ 17.6</b>	<b>▲ 8.4</b>	<b>12.5</b>	<b>▲ 16.7</b>
今回調査比	(11.7)	-	-	(17.7)	(8.3)	(25.0)	(▲ 16.7)

### ④ 置 賜

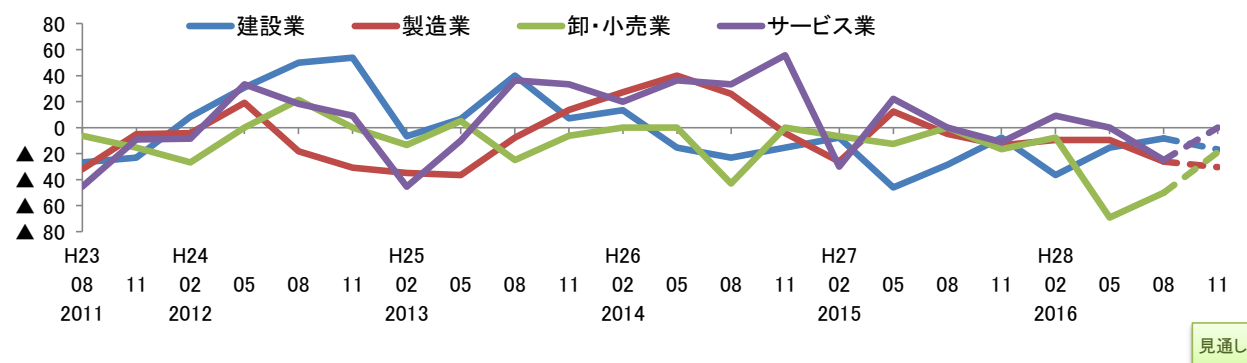
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲28.8（前回調査比 5.9 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。業種別にみると、建設業と卸・小売業で改善したものの、製造業とサービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲20.3（今回調査比 8.5 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 19 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

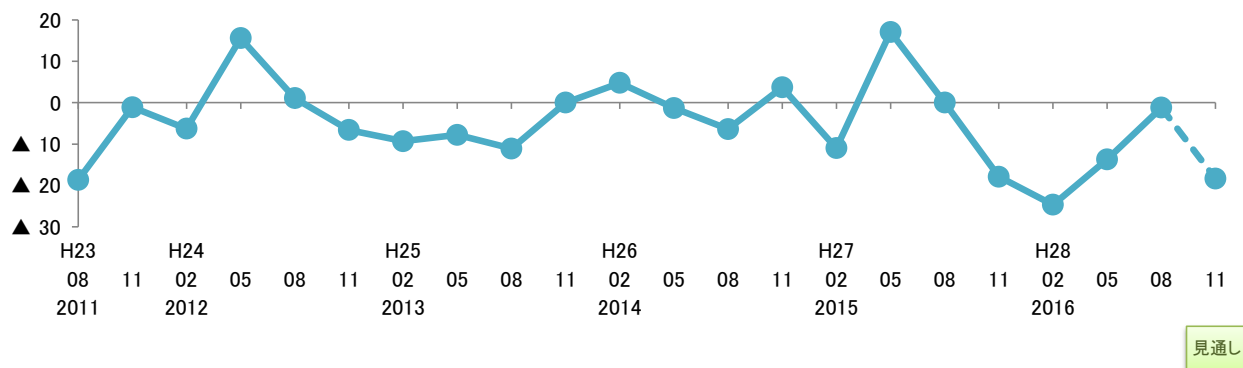
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.08 (n=58)	▲ 8.6	(▲ 3.7)	▲ 3.2	▲ 28.6	▲ 4.8	0.0	0.0
H 27.11 (n=56)	▲ 12.5	(▲ 3.9)	▲ 8.6	▲ 7.7	▲ 13.6	▲ 16.6	▲ 11.1
H 28.02 (n=56)	▲ 10.7	(1.8)	▲ 16.0	▲ 36.4	▲ 9.5	▲ 7.7	9.1
H 28.05 (n=57)	▲ 22.9	(▲ 12.2)	▲ 17.8	▲ 15.4	▲ 9.5	▲ 69.2	0.0
<b>H 28.08 (n=59)</b>	<b>▲ 28.8</b>	<b>(▲ 5.9)</b>	<b>▲ 24.5</b>	<b>▲ 8.3</b>	<b>▲ 26.1</b>	<b>▲ 50.0</b>	<b>▲ 25.0</b>
前回調査比	-	-	-	(7.1)	(▲ 16.6)	(19.2)	(▲ 25.0)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 20.3</b>	-	-	<b>▲ 16.7</b>	<b>▲ 30.4</b>	<b>▲ 18.8</b>	<b>0.0</b>
今回調査比	(8.5)	-	-	(▲ 8.4)	(▲ 4.3)	(31.2)	(25.0)

### ⑤ 庄内田川

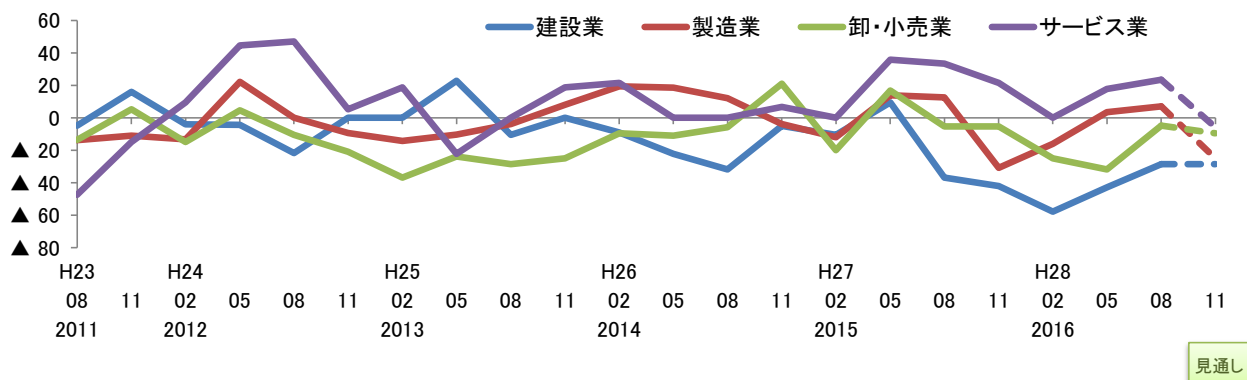
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲1.2（前回調査比 12.5 ポイント上昇）と 2 期連続で改善となった。業種別にみると、すべての業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲18.4（今回調査比 17.2 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

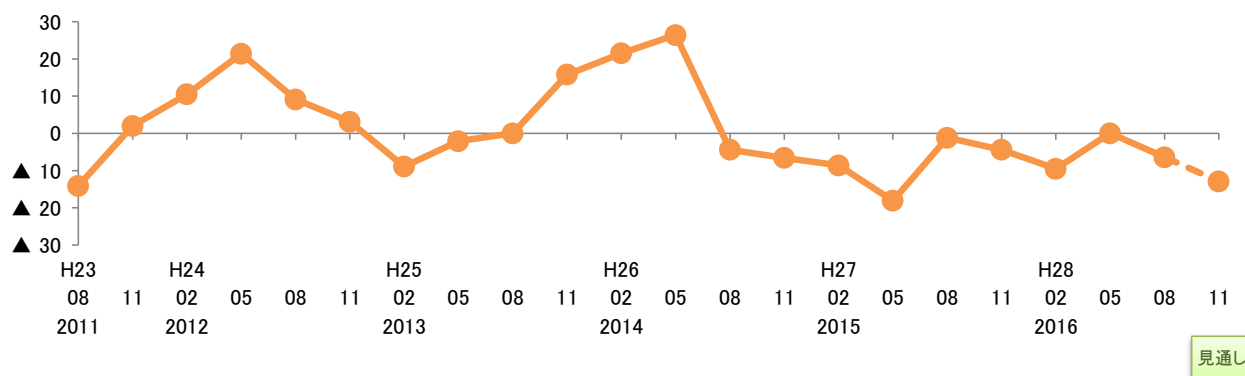
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.08 (n=77)	0.0	(▲ 17.1)	▲ 9.8	▲ 36.8	12.5	▲ 5.3	33.4
H 27.11 (n=78)	▲ 17.9	(▲ 17.9)	▲ 19.5	▲ 42.1	▲ 30.8	▲ 5.3	21.5
H 28.02 (n=77)	▲ 24.7	(▲ 6.8)	▲ 6.4	▲ 57.9	▲ 16.0	▲ 25.0	0.0
H 28.05 (n=88)	▲ 13.7	(11.0)	▲ 26.0	▲ 42.9	3.5	▲ 31.9	17.7
H 28.08 (n=87)	▲ 1.2	(12.5)	▲ 12.5	▲ 28.6	7.1	▲ 4.8	23.5
前回調査比	-	-	-	(14.3)	(3.6)	(27.1)	(5.8)
先行き見通し	▲ 18.4	-	-	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 9.5	▲ 5.8
今回調査比	(▲ 17.2)	-	-	(0.0)	(▲ 32.1)	(▲ 4.7)	(▲ 29.3)

## ⑥ 庄内飽海

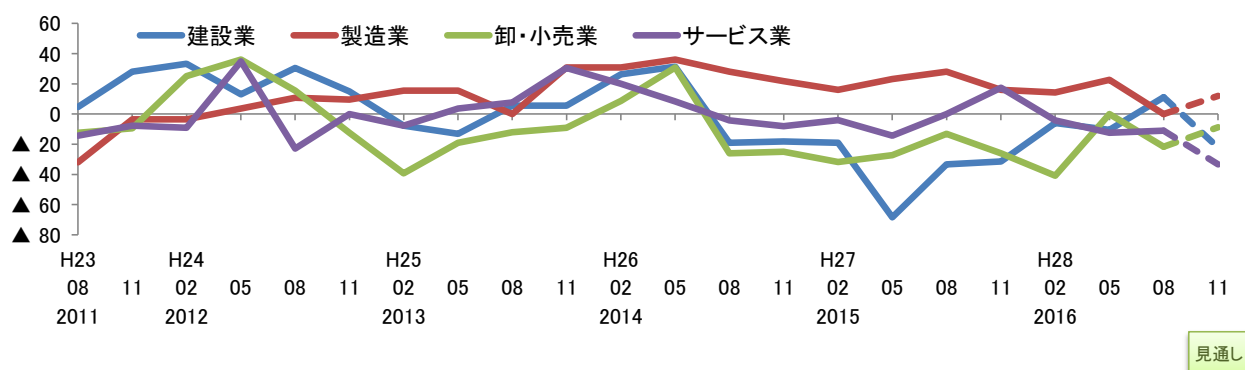
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲6.4（前回調査比 6.4 ポイント下落）と2期ぶりにDI値がマイナスに転じた。業種別にみると、建設業で改善、サービス業でほぼ横ばいとなったものの、製造業と卸・小売業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲12.9（今回調査比 6.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 27.08 (n=86)	▲ 1.2	(16.9)	▲ 20.5	▲ 33.4	28.0	▲ 13.1	0.0
H 27.11 (n=90)	▲ 4.4	(▲ 3.2)	▲ 9.3	▲ 31.5	16.0	▲ 26.1	17.4
H 28.02 (n=84)	▲ 9.5	(▲ 5.1)	▲ 8.9	▲ 5.9	14.3	▲ 40.9	▲ 4.2
H 28.05 (n=87)	0.0	(9.5)	▲ 19.1	▲ 10.5	22.7	0.0	▲ 12.5
<b>H 28.08 (n=93)</b>	<b>▲ 6.4</b>	<b>(▲ 6.4)</b>	<b>▲ 16.1</b>	<b>11.1</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 21.7</b>	<b>▲ 11.1</b>
前回調査比	-	-	-	(21.6)	(▲ 22.7)	(▲ 21.7)	(1.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.9</b>	-	-	<b>▲ 22.2</b>	<b>12.0</b>	<b>▲ 8.7</b>	<b>▲ 33.3</b>
今回調査比	(▲ 6.5)	-	-	(▲ 33.3)	(12.0)	(13.0)	(▲ 22.2)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山形県

今期の業況 →

来期の見通し

庄内飽海

→

最上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置賜

→

村山南部

→

今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

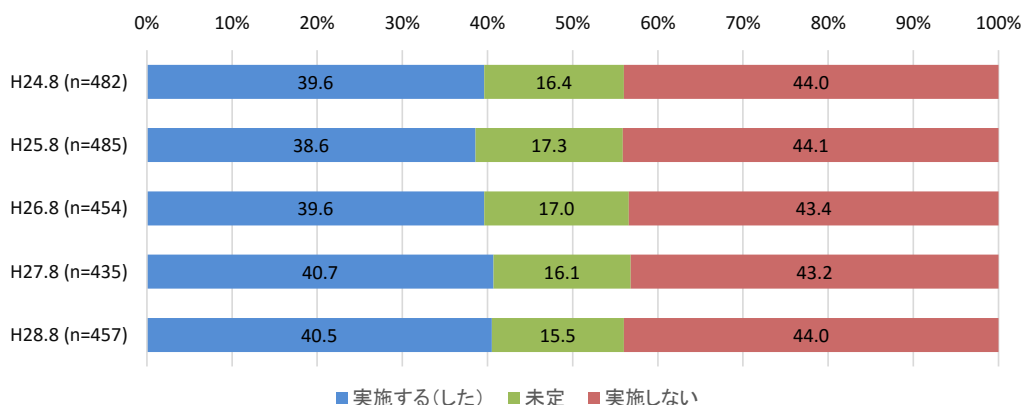


### III. 特別調査

#### 1. 設備投資動向

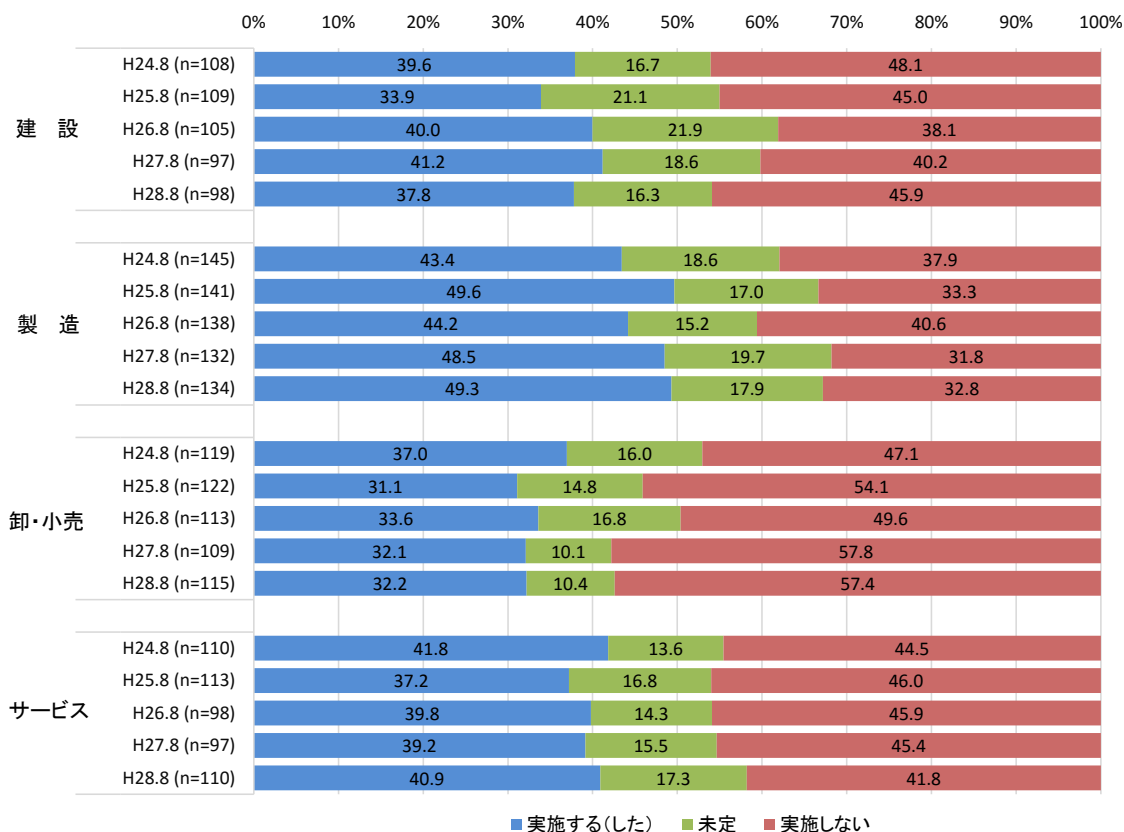
28 年度中に設備投資を「実施した」、または「実施する」と回答した企業の割合は 40.5%（前年度比 0.2 ポイント低下）で、平成 24 年度以降、ほぼ 40%程度で推移している。

図表 25 「設備投資動向」の推移



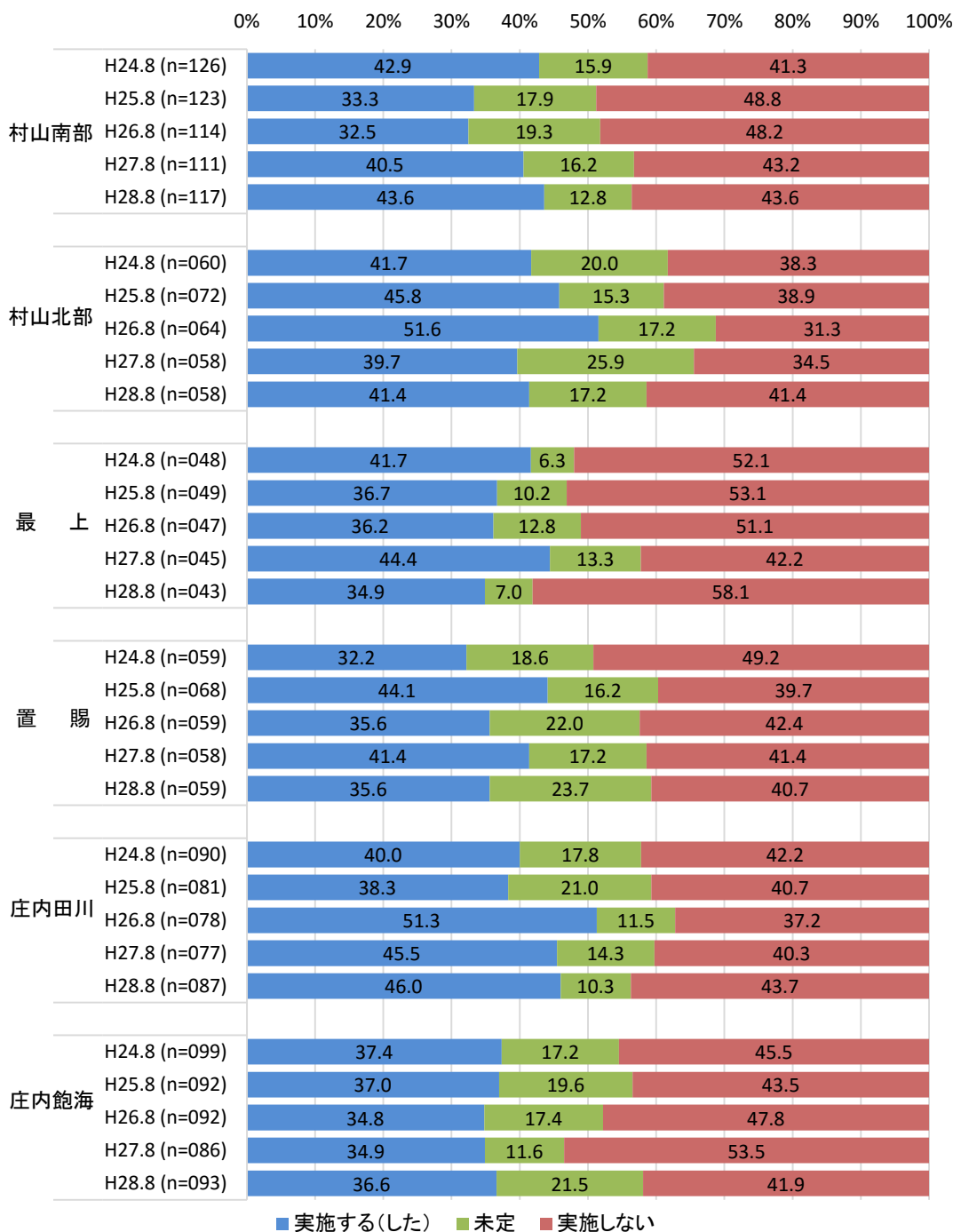
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が 37.8%（前年度比 3.4 ポイント低下）、製造業が 49.3%（前年度比 0.8 ポイント上昇）、卸・小売業が 32.2%（前年度比 0.1 ポイント上昇）、サービス業が 40.9%（前年度比 1.7 ポイント上昇）と、建設業で若干低下、製造業と卸・小売業でほぼ横ばいとなり、サービス業で若干上昇した。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



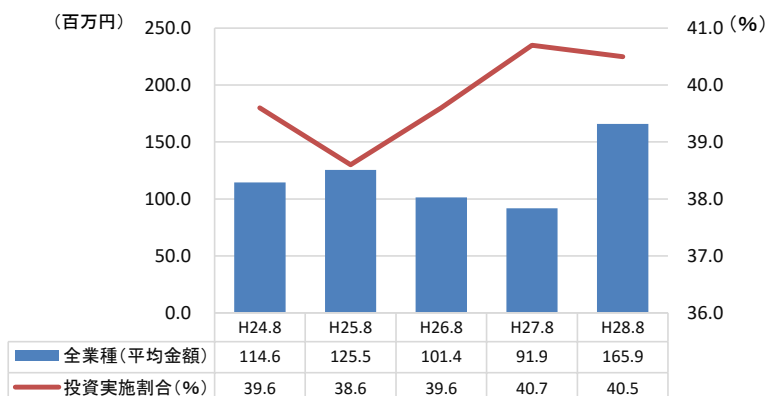
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 43.6%（前年度比 3.1 ポイント上昇）、村山北部は 41.4%（前年度比 1.7 ポイント上昇）、最上は 34.9%（前年度比 9.5 ポイント低下）、置賜は 35.6%（前年度比 5.8 ポイント低下）、庄内田川は 46.0%（前年度比 0.5 ポイント上昇）、庄内飽海は 36.6%（前年度比 1.7 ポイント上昇）となり、庄内田川で最も高くなった。また、村山南部では 2 年連続で実施割合が上昇した。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



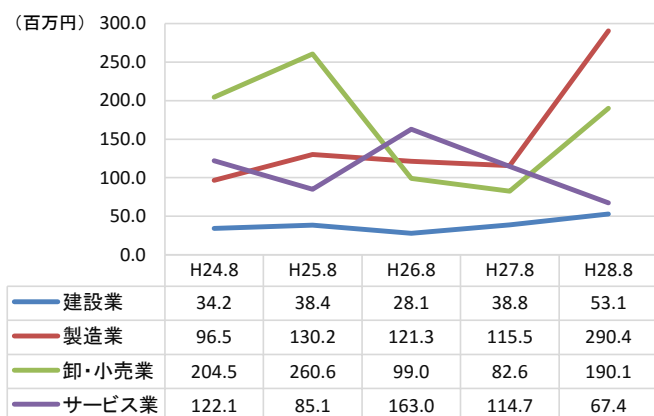
## 2. 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



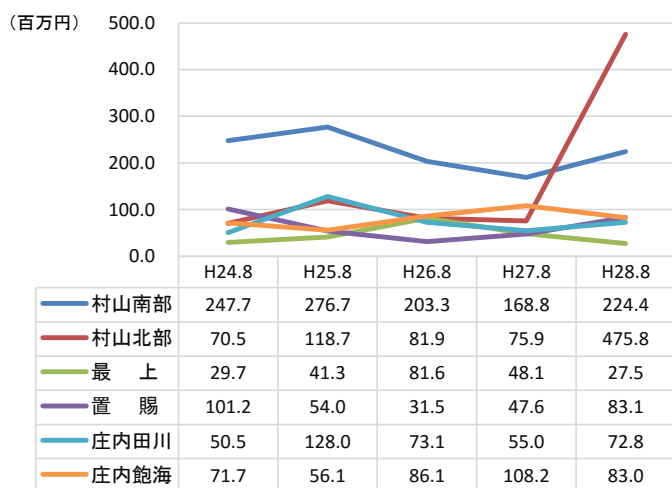
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は1億6,590万円で、前年度の調査時点よりも約7,400万円増加した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が5,310万円(前年度比1,430万円増加)、製造業が2億9,040万円(前年度比1億7,490万円増加)、卸・小売業が1億9,010万円(前年度比1億740万円増加)、サービス業が6,740万円(前年度比4,730万円減少)となり、サービス業を除く3業種で増加となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移



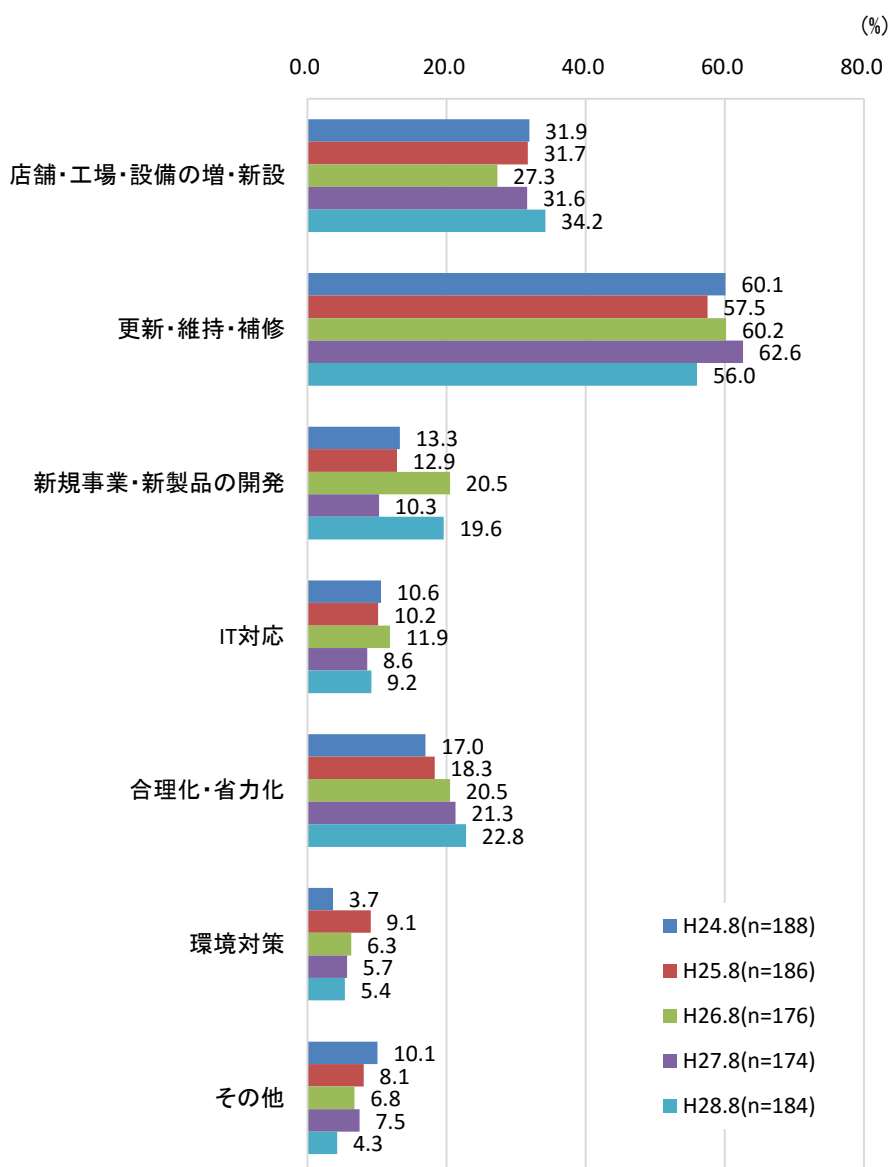
地域別にみると、村山南部が2億2,440万円(前年度比5,550万円増加)、村山北部が4億7,580万円(前年度比4億円増加)、最上が2,750万円(前年度比2,070万円減少)、置賜が8,310万円(前年度比3,550万円増加)、庄内田川が7,280万円(前年度比1,780万円増加)、庄内飽海が8,300万円(前年度比2,520万円減少)となり、村山南部、村山北部、置賜、庄内田川の4地域で増加となった。

### 3. 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が最も高く、56.0%となった。次いで「店舗・工場・設備の増・新設」が34.2%、「合理化・省力化」が22.8%となっている。5か年の推移をみても、このような傾向に変化はない。

「店舗・工場・設備の増・新設」は2年連続で上昇、「新規事業・新製品の開発」は前年に比べて大幅に上昇した。「合理化・省力化」は、年々上昇している。

図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）

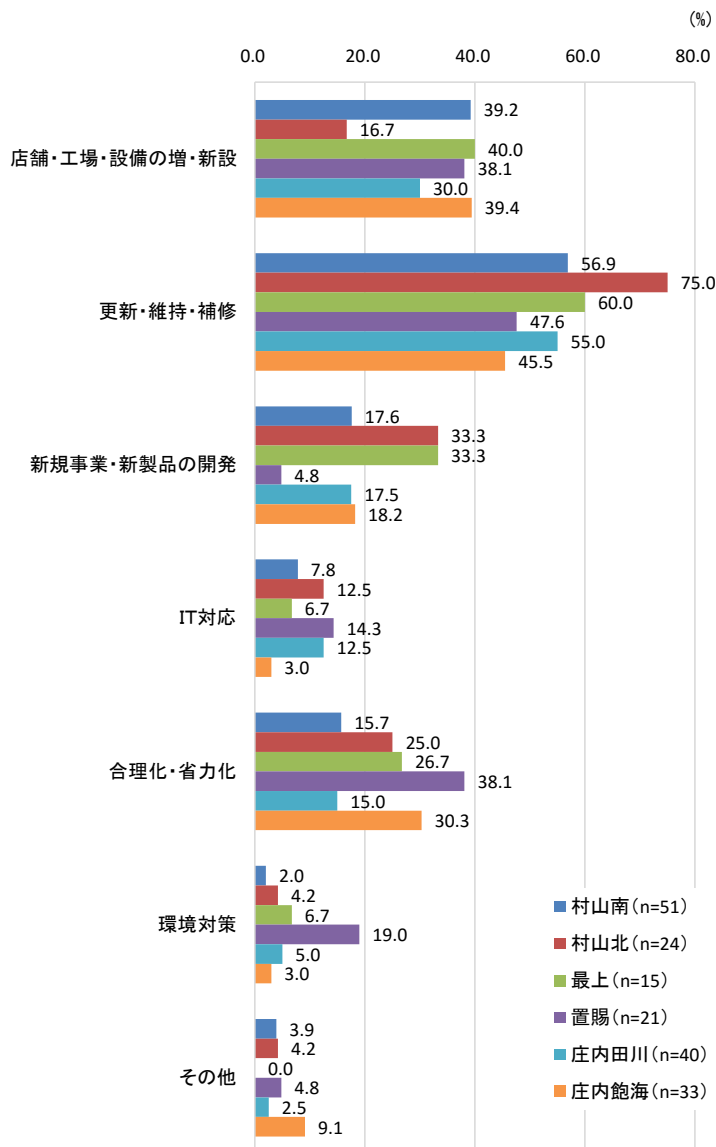
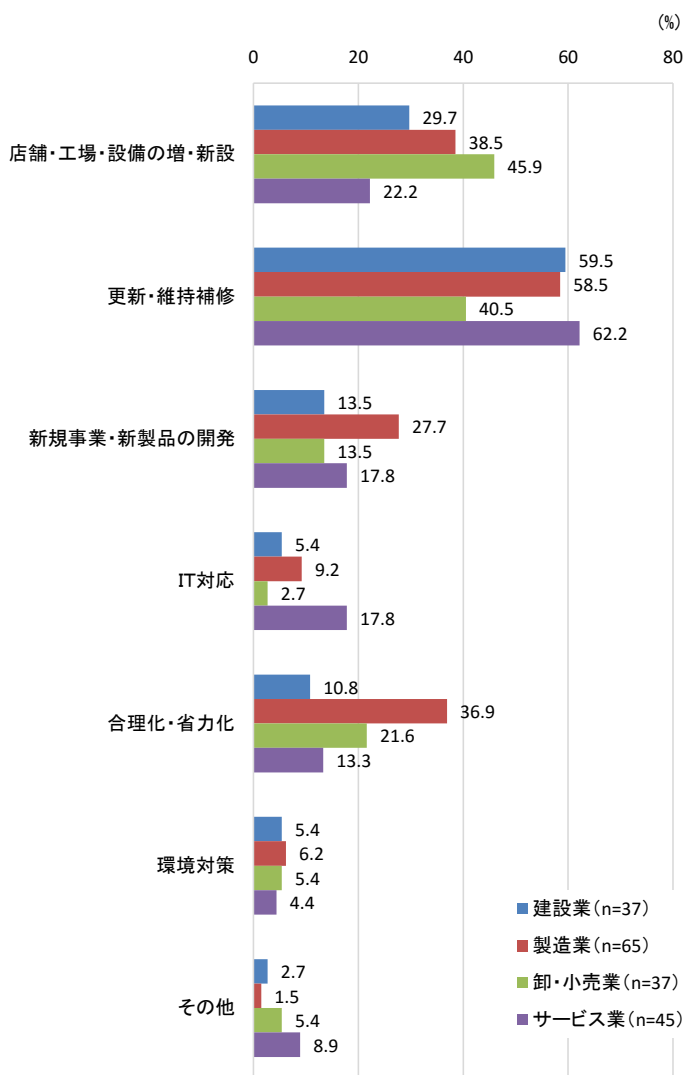


業種別に投資目的をみると、卸・小売業を除く 3 業種で、「更新・維持・補修」の回答割合が最も高くなっている。卸・小売業では「店舗・工場・設備の増・新設」の回答割合が他項目に比べて最も高く、他業種と比べても最も高い割合となっている。一方、製造業で「新規事業・新製品の開発」および「合理化・省力化」の回答割合が他業種に比べて高い。製造業では多品種少量生産に対応する状況などが考えられる。

地域別に投資目的をみると、すべての地域で「更新・維持・補修」の回答割合が最も高くなっている。また、置賜地域で「環境対策」の割合が他地域に比べて高くなっている。

図表 32 業種別「設備投資の目的」(複数回答)

図表 33 地域別「設備投資の目的」(複数回答)



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	23	35	51	56	165
村山北部	21	37	17	18	93
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	15	95
庄内田川	30	38	29	31	128
庄内飽海	35	36	33	38	142
合計	153	196	166	176	691

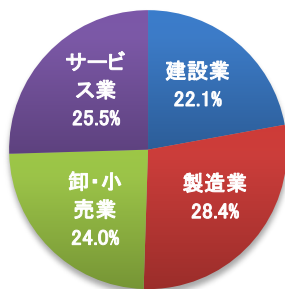
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	19	22	34	42	117
村山北部	11	24	13	10	58
最上	17	12	8	6	43
置賜	12	23	16	8	59
庄内田川	21	28	21	17	87
庄内飽海	18	25	23	27	93
合計	98	134	115	110	457

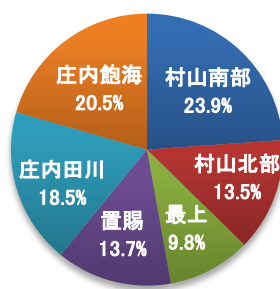
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	82.6	62.9	66.7	75.0	70.9
村山北部	52.4	64.9	76.5	55.6	62.4
最上	81.0	66.7	72.7	33.3	63.2
置賜	52.2	71.9	64.0	53.3	62.1
庄内田川	70.0	73.7	72.4	54.8	68.0
庄内飽海	51.4	69.4	69.7	71.1	65.5
合計	64.1	68.4	69.3	62.5	66.1

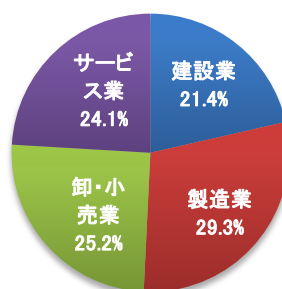
サンプル割合（業種別）



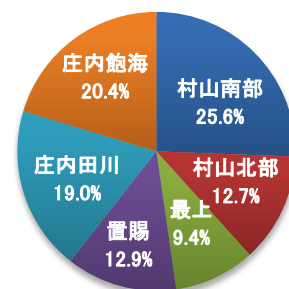
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）

● 調査期間

平成 28 年 8 月 1 日(月)～15 日(月)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 松田 美由紀

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>